

4 感染症重大事案対策事業

一次世代シーケンサー(NGS)を活用した検査の実施

令和3年に引き続き、重症症例であり原因の特定が困難な急性脳炎・脳症及び無菌性髄膜炎やまん延のおそれのある重症感染症における原因病原体の検出率の向上と検査の効率化、医療に役立つ質の高い情報提供のため、NGSを活用した検査を実施した。令和4年は4症例13検体(急性脳炎・脳症1症例(4検体)、無菌性髄膜炎3症例(9検体))を検査した。

また、令和5年3月に、埼玉県次世代シーケンサー解析結果評価委員会を開催した。